

土曜

SATURDAY

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp



しんめい動物病院長
(富山市高田)
鷹島 慎太郎

2020年は子(ネズミ)年です。ペットとして人気のあるハムスターの感染症について紹介したいと思います。

ハムスターの下痢や体重減少の原因の多くは、消化管の中にいる寄生虫です。条虫、ギョウ虫、ジアルジア、トリコモナスがよく見られます。慣れない人は判断しにくいのですが、便の色調、大きさに変化がある場合は、初期の下痢の可能性があります。ヒトや犬・猫で見られるような泥状の下痢は、ハムスターでは重度の下痢で

ハムスターの感染症



小型種のジャンガリアンハムスター。体調に変化があれば、早めに動物病院を受診する

下痢の原因は寄生虫

す。また、トリコモナス症は人間に感染することもあるので、ハムスターと遊んだ後は、よく手を洗うようにしましょう。

ハムスターの体毛が薄い、体がかゆがるなどの症状は、皮膚に寄生するダニが原因の一つです。皮膚にトンネルを作って増えるヒゼンタニ(疥癬)、毛穴に住むニキビダニは、皮膚の検査をしても見つけられない場合があります、後述の皮膚糸状菌症との鑑別が困難になり

ります。基礎疾患として内分泌系(ホルモン)に異常があるときは、一般的なダニの駆除薬での治療に反応しないこともあります。

皮膚糸状菌症は、いわゆる「みずむし」「たむし」と呼ばれるカビ(真菌)の感染症です。ヒトと同様に治りにくく、治療期間が長い病

気です。外見上治ったように見えても、薬を中断すると再発しやすいので、注意が必要です。

これらの病気は、ハムスターが元気なときは症状を起こさず、体力が落ちてくると悪さをする、いわゆる日和見感染症を見せます。実は買ってから前から感染していた、ということもあり得るので、病気をするような心当たりがなくても、体調に変化があれば、早めに動物病院を受診してください。

感染症は、適切な治療薬によって改善しますが、ハムスター用の治療薬はありません。人間用や、家畜用の治療薬を流用することになります。そのため、思わぬ副作用を生じることがあるので、自己判断による投薬、もしくは投薬の中止は避け、獣医師の判断を仰ぐようにしましょう。